

公開シンポジウム 「こころの未来形」

～21世紀における「共感」と「響存」の可能性～

2016. 9. 1

- 日時：2016年9月26日（月）午後1時～4時45分（受付開始12：30）
- 会場：築地本願寺（2階講堂）
メトロ日比谷線築地駅から徒歩1分 Tel:03-3541-1131
- 主催：日本未来学会
- 共催：浄土真宗本願寺派総合研究所、他力本願.net「ご縁ラボ」
- 協力：築地本願寺、コンセプト・バンク
- 対象：日本未来学会会員および一般希望者（定員100名）
- 参加費：一般参加1000円（未来学会会員は無料、別途年会費3000円）
- 趣旨

20世紀、人々は物質的豊かさを追い求めてきました。21世紀は「こころの時代」ともいわれます。しかし、そのあるべき姿はいまだ暗中模索状態です。

本シンポジウムは、1968年の発足以来、人類と社会の未来にかかわってきた日本未来学会が、人間と人工知能は理解しあえるか？、21世紀における宗教の社会的役割、などの様々の観点から、「こころの未来形」を共に考え、明日へ向けて問題提起しようとするものです。

○ プログラム構成

■第Ⅰ部：21世紀における宗教の社会的役割（60分）

- ・ 稲場圭信（大阪大学教授）「21世紀の共生学とは」（仮題）
- ・ 丘山願海（浄土真宗本願寺派総合研究所所長）「響存という生き方」（仮題）

■第Ⅱ部：人間と人工知能は理解しあえるか？（60分）

- ・ 高橋透（早稲田大学文化構想学部教授、「サイボーグ論」）
- ・ 山本弘（SF作家、「アイの物語」他）

■第Ⅲ部：パネル討論～21世紀における「共感」と「響存」の可能性（90分）

上記講演者に加え、以下の指定シンポジストが登壇します。

- ・ 市原えつこ（メディアアーティスト、「デジタルシャーマン・プロジェクト」）
- ・ 佐野ハナ（一般社団法人お寺の未来）

（総合司会）和田雄志（日本未来学会常任理事）

【問合せ先】 miraigakkai@ifeng.or.jp（日本未来学会事務局）

【事前申し込み方法】（先着順受付）

上記アドレスに所属、氏名、学会会員/一般の区別を明記の上、申込みください。